

提灯山と納涼盆踊り大会の伝統継承



【志段味東学区】

■世帯数：3,299 世帯

■人 □：9,003 人

■面 積：6.973k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

勝手社、上志段味公民館前広場にて、伝統行事である納涼盆踊り大会を開催している。延べ参加者数は約 1,000 人。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、回覧、掲示板への掲示

【アピールポイント】

戦前から続く提灯山の山建て作業は、人力で行う昔ながらの方法で行われている。提灯の中にロウソクを灯して、約 2 時間強ほのかな明かりのもと、提灯山の下に踊りの輪ができ、賑わいをみせている。

2 きっかけ、背景

戦前から行われている当地域の伝統行事であり、昭和 20 年中頃までは、旧暦 7 月 17 日(久岑寺境内)と 7 月 22 日(氏神勝手社境内)に提灯山を建て、その下で盆踊りが行われていた。その後 2 か所での継続ができなくなり休止状態となったが、40 年代後半に再開の機運が高まり現在に至る。学区の開発が進み、他地域からの転入者が激増している当地域として、伝統文化の継承と同時に住民同士の交流促進につながる行事となっている。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、民生委員児童委員、保健委員、氏子役員、提灯山保存会
計約 16 人

(2) 他団体との協力

老人会、保健委員会、民生児童委員会、学童保育所、舞踊会、提灯山保存会

(3) 運営協力

実行委員会を数回開催し、共通理解を得るとともに役割分担をしている。

4 実施のスケジュール

6月下旬 第1回実行委員会(実施事項の決定)



7月中旬 住民へのPR、広報活動



7月下旬 第2回実行委員会



8月上旬 第3回実行委員会
・各種協力団体・ボランティアによる会場準備
・提灯山保存会による伝統継承訓練の実施



8月中旬 前夜祭(8月12日)
本会は13日開催(固定)

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 年々参加者が増加している。
- ・ 一緒になって準備することにより、住民相互の交流の場になっている。

(2) 苦労した点

- ・ 提灯山の山建て作業の方法を受け継ぐ若い人が集まらない。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 提灯山の山建て作業の継続を目的に、提灯山保存会を自治会内に設け、伝承作業をする組織を平成19年に発足し、現在に至っている。
- ・ 担い手の世代交代及び活動資金の確保が課題である。

